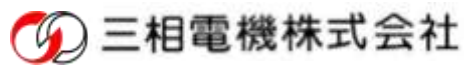


平成22年度(第54期)決算説明資料

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)



平成23年6月28日

<目次>

1. 決算の概況

- (1) 損益計算書、貸借対照表の概略 2
- (2) 事業の取り組み内容について 3
- (3) 売上高および営業利益の推移 4
- (4) 品目別売上高の推移 5
- (5) 収益関連指標 6
- (6) 総資産・純資産 7
- (7) 配当政策 8
- (8) 利益配分の方針 8

2. 今後の取り組みについて

- (1) 経営環境 9
- (2) 諸施策 10
- (3) 業績の見通し 11

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	H22/3期	H23/3期	前期比(%)	H22/3期	H23/3期	前期比(%)
売 上 高	8,360	10,257	122.7	7,571	9,524	125.8
営 業 利 益	△ 167	323	—	2	253	—
経 常 利 益	△ 77	269	—	58	245	—
当 期 純 利 益	△ 289	204	—	△ 123	200	—

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	H22/3期	H23/3期	増減	H22/3期	H23/3期	増減
資 産	8,575	9,708	+1,133	8,167	9,162	+995
負 債	3,459	4,456	+997	3,260	4,089	+829
純 資 産	5,116	5,251	+135	4,906	5,072	+166
総 資 産	8,575	9,708	+1,133	8,167	9,162	+995

2

(2) 事業の取り組み内容について

・ 営業

- ・ 大幅な落ち込みを続けていた工作機械装置業界などの受注が回復するなかで、当社の強みでもある高効率モータやポンプの販売促進を行う。

・ 製造、購買

- ・ お客様の短納期要求に応える為、新たな生産管理システムの構築を進める。
- ・ 鉄鋼材や非鉄金属、原油価格が上昇するなかで、生産性の向上やグローバルな部品調達によりコストダウンを進める。

・ 研究開発

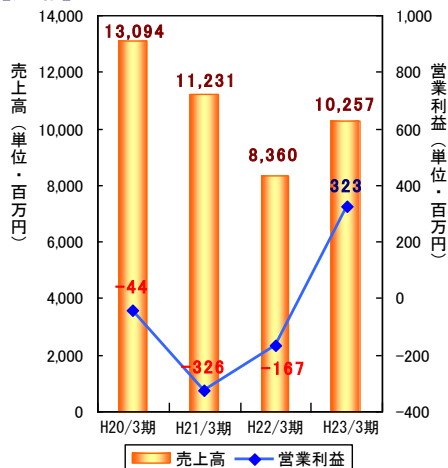
- ・ 環境にやさしい省エネ、高効率、低騒音の製品を開発
(高効率で低消費電力となるDC(直流)IPMモータを開発 他)
- ・ 新規用途に対応した製品開発(電波発信装置冷却用ポンプ他)

3

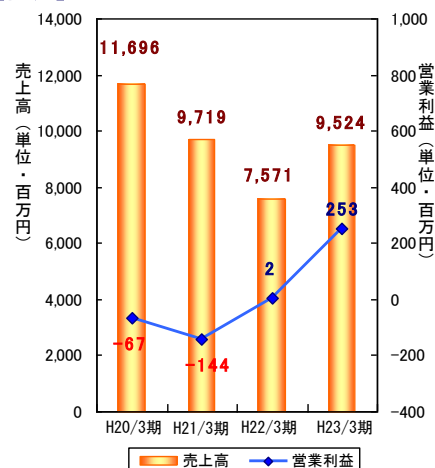
(3) 売上高および営業利益の推移

- ・ 工作機械装置業界をはじめ、他の業界においても受注は回復傾向となることで、当連結会計年度の連結売上高は、前年同期比122.7%と大きく増加に転じた。
- ・ 営業利益においては、コストダウンや売上高の増加要因等により大幅に増加した。

【連結】



【個別】

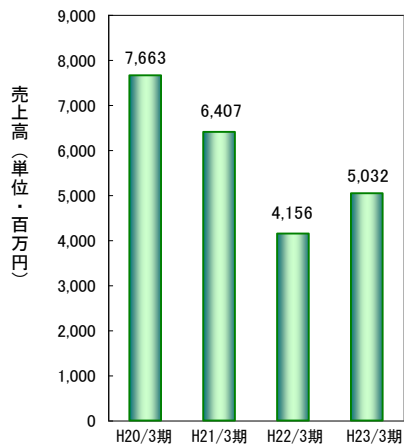


4

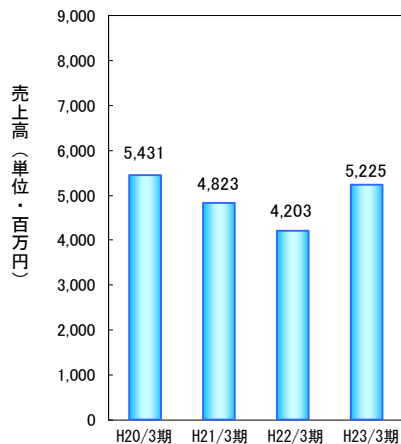
(4) 品目別売上高の推移(連結)

- ・ モーターでは、工作機械用モーターの受注が回復。また新製品となるエアコン用のIPMモーターの売上が上積みとなる。
- ・ ポンプにおいては、好況な市場を反映し半導体製造装置用ポンプの受注は増加するとともに、住宅設備用ポンプなどが回復、また新製品の水中ポンプが販売に寄与する。

【モーター】



【ポンプ】

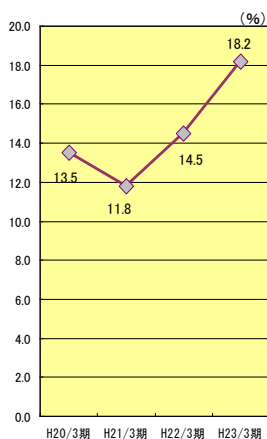


5

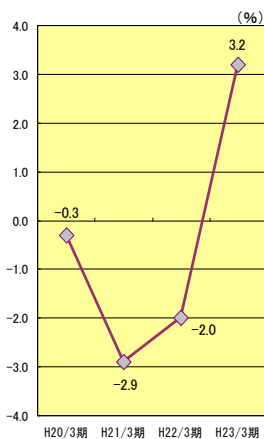
(5) 収益関連指標(連結)

- ・売上高の増加や、昨年の早期退職優遇制度実施による人件費の圧縮効果もあり、各指標とも改善される。

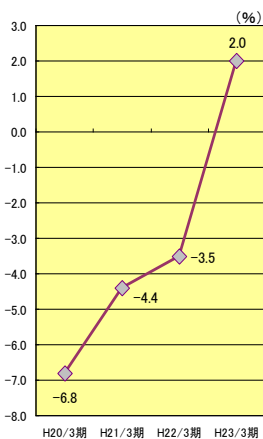
■ 売上総利益(率)



■ 営業利益(率)



■ 当期純利益(率)

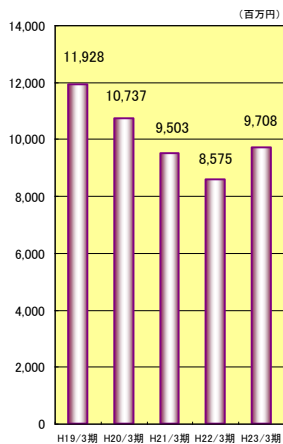


6

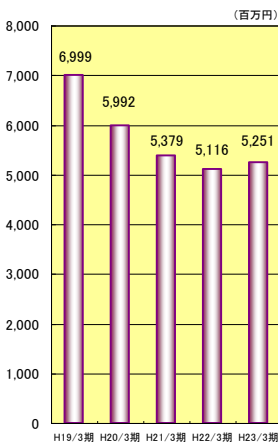
(6) 総資産・純資産(連結)

- ・受注増加により流動資産の受取手形及び売掛金が増加。同様に、流動負債の支払手形及び買掛金が増加となる。
- ・たな卸資産の増加により、現金及び預金が減少

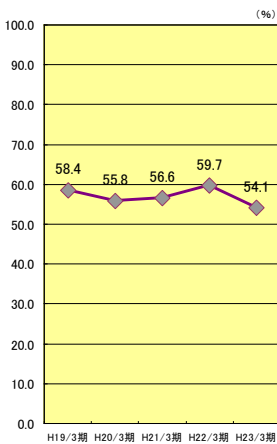
■ 総資産



■ 純資産



■ 自己資本比率



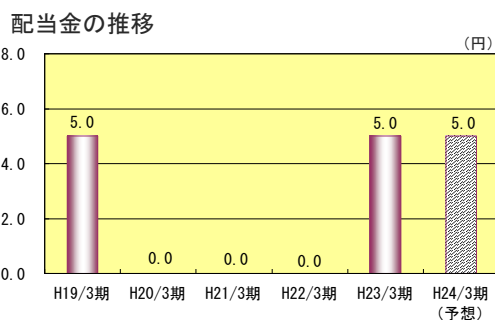
7

(7) 配当政策

利益配分については、株主および一般投資家への企業責任の重大性を十分に認識し、業績の伸長を勘案し極力配当性を高め、かつ維持しながら弾力的な利益還元を行うとともに収益力の向上を目指し、内部留保金についても有効投資に活用し、収益向上に取り組んでいます。

(8) 利益配分の方針

平成23年3月期の配当については、1株につき期末配当金5円00銭とさせていただきます。
次期の配当については、現状の業績等を考慮して1株につき年5円00銭を予定しております。
今後更に、業績を向上させ安定的な配当を行うように努めていきます。



8

2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境

◆ 経済状況

- ・ 海外経済の改善などにより景気回復の期待がもたれるが、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により、景気の先行きは依然として不透明感が払拭できない状況で推移するものと考えられる。

◆ 業界動向

- ・ 家電業界では、電気の供給問題により、低消費電力となるエコ商品への要望が高まる。
- ・ 工作機械装置業界では、東日本大震災による影響も軽微で、依然として回復基調の状況が続く。
- ・ 住宅設備関連業界では、被災地での復興需要が考えられるが、その他の地域においては、緩やかな状況で推移するものと考えられる。
- ・ 半導体製造設備業界では、一部で陰りが見られるものの依然として好況な状況を維持している。

9

(2) 諸施策

・ 営業

- ・ 低消費電力、高効率のモータとポンプを中心に拡販を行う。
- ・ 新規用途の提案で新市場を開拓していく。

・ 製造、購買

- ・ 新生産管理システムの運用により、短納期生産体制の確立を図る。
- ・ 部材の共通化を進めるとともに、グローバルな部品調達によりコストダウンを図る。
- ・ 生産性向上並びに物流の合理化を目的に新工場の建設を進める。
(平成23年4月28日付開示)

・ 研究開発

- ・ 低消費電力のDC(直流)モータおよびポンプのバリエーションを増やし、市場ニーズや新たな用途に応える。
- ・ 国際規格(IE2、IE3)に適合した高効率モータのシリーズ化を進め、既存市場での優位性を高める。

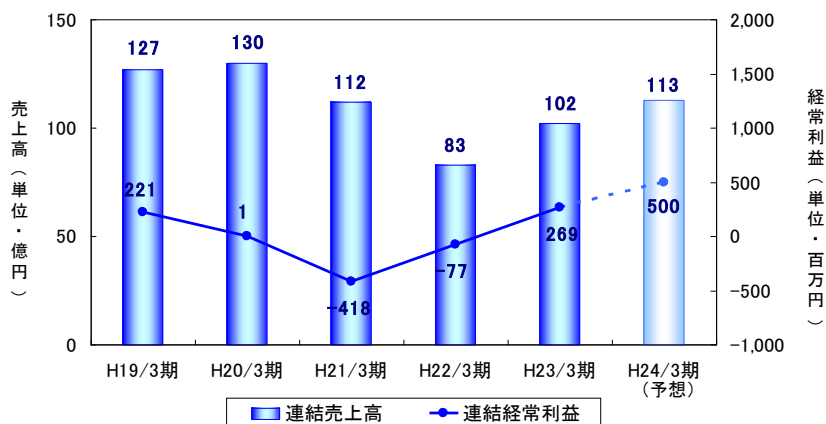
・ 品質

- ・ 製造技術を極め、均一したクオリティの製品を提供する。
- ・ 受入検査の厳格化により不適合部品の混入を防ぐ。

10

(3) 業績の見通し(連結)

[売上高・経常利益のグラフ]



連結：売上高については、昨年発売したIPMモータと水中ポンプが受注の下支えをすることで増収を見込む。
利益面については、原材料のコストアップが見込まれるが、売上高の増加および生産性の向上により増益を見込む。

11

おことわり

この資料に掲載しております将来の計画や予想数値については、現在（平成23年6月）入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、実績の業績などは、今後の様々な条件・要素によりここに掲載する内容と異なる場合がございます。

なお、この資料は、その実績を確約および保証するものではありませんのでご了承ください。

お問い合わせ先

三相電機株式会社
統括管理部 経理課 経営企画係

〒671-2288

兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号

TEL 079-266-1200

FAX 079-266-1206

E-mail sanso@sanso-elec.co.jp